


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役  
橋本 健一郎



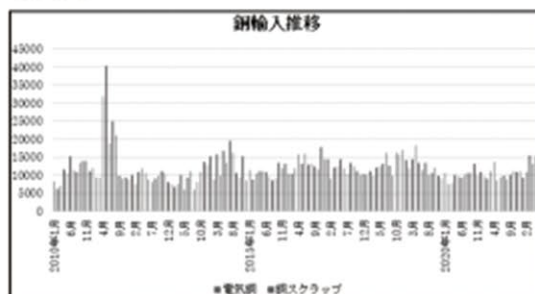
10月の銅の概況及び11月の見通し(3)

予想レンジ

LMEセツル	7,000ドル~8,000ドル	●
建値	105万円~124万円	●
為替	145円~150円	●

(1か月間TTM) 円安

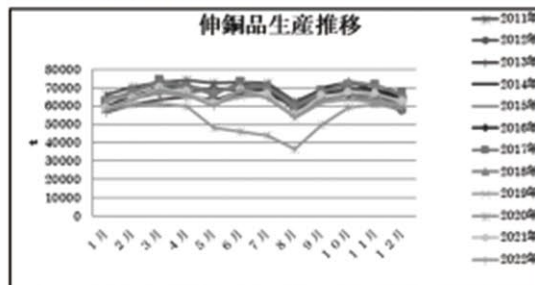
## 輸入推移



## ■前月の国内指標

## 【伸銅品生産】

9月伸銅品生産量は6万1,770トン、2か月ぶりに6万トン回復した。ただ、前年同月比6.0%減少し、9か月連続のマイナスとなった。この9か月間の仲では最もマイナス幅拡大した。



アルミニウム地金  
アルミニウム原料

熟練ポット炉技術で歩留まりUP!

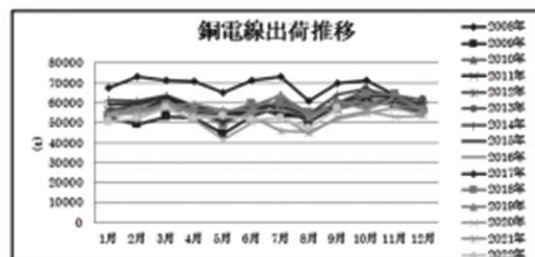
**井関金属株式会社**

代表取締役 柳 一根

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407  
☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667

## 【日本電線工業会発の出荷速報(推定)】

前年比+10.7%の5万7,000 t。  
内訳は、国内+7.2%。輸出が+86.3%。



## ■国内概況まとめ

## 【自動車生産】

生産動態統計によると9月の自動車生産台数は前年比+79.3%の71万3,626台。

輸出は、前年同月比+87.6%の34万4,807台。

## 【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると10月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+19.7%の21万1,542台。

内訳は、乗用車が+23.6%、貨物は-2.9%、バスは-8.4%。

## 【伸銅品生産】

9月伸銅品生産量は6万1,770トン、2か月ぶりに6万トン回復した。ただ、前年同月比6.0%減少し、9か月連続のマイナスとなった。この9か月間の仲では最もマイナス幅拡大した。半導体向け需要の堅調さが継続している。ただ、中国ロックダウン後の回復遅れと、中国国内のスマートフォン販売不振がマイナス要因として足を引っ張っている。エアコン自体の需要はあるのだが、引き続き部品が滞りから組立生産が遅れている。こうした回復の遅れに対して、需要期が過ぎても挽回生産の期待を続けている。

現在の伸銅品の生産減は、中国のスマートフォン需要減など一部需要の落ち込みが見られるが、あくまでも部品不足に伴う生産遅れが問題のものである。

銅条は、同比4ヶ月連続プラス。車載やファクトリ向けのディスクリート半導体の需要が好調である。

しかし、デジタル家電の勢いが昨年ほどなく、またスマートフォンの中国販売不振の影響を受けている。

黄銅棒は、同比9ヶ月連続マイナス。リフォーム向け需要に支えられている。

## 【電線】

前年比は、+10.7%の5万7,000 t。

内訳は、国内が+7.2%、輸出が+86.3%。

## 【銅】【輸出】

電気銅は、+35%の6万6,601 t。

スクラップは、-6.9%の2万5,570 t。

## 【輸入】

電気銅は、-53.2%の257 t。

スクラップは、+19%の1万1,241 t。(次頁へ)